

パソコン苦手な人のための

Fチャートまにゅある

— インストールと基本編 —

2014 年 01 月 吉日

b y Fチャらぶ

—目 次—

1. まずはパソコンに、Fチャートをいれなきゃね	・ ・ ・ ・ ・ 1
<インストールするぞ>	・ ・ ・ ・ ・ 1
<ユーザー登録するぞ>	・ ・ ・ ・ ・ 2
<各種データーを、リンクさせるぞ>	・ ・ ・ ・ ・ 3
<バージョンアップとデーターとりするぞ>	・ ・ ・ ・ ・ 4
注意！「ファイル解凍に必要な UNLHA32DLLが見つかりません」と、出ちゃったら	・ ・ ・ 4
<日にちデーターを取り込むぞ>	・ ・ ・ ・ ・ 5
2. 何を表示させるかを設定	・ ・ ・ ・ ・ 7
<上から 6 段目の帯のなかをいじる>	・ ・ ・ ・ ・ 7
<上から 2 段目の帯、メニューバーをいじる>	・ ・ ・ ・ 8
3. チャートの見た目を変える	・ ・ ・ ・ 10
<チャート画面の大きさを変えるぞ>	・ ・ ・ ・ 10
<チャート画面背景色や、そのほか背景色、線の色 ナド を変えるぞ>	・ ・ ・ ・ 10
<チャートにテクニカル指標を入れるぞ。(移動平均線や、MACD とか RSI とかね) >	・ ・ ・ 12
< 移動平均線を入れるぞ >	・ ・ ・ ・ 12
< 出来高移動平均線を入れるぞ>	・ ・ ・ ・ 12
< 自分が使いたいテクニカルを入れるぞ >	・ ・ ・ ・ 12
< 画面に表示させたいテクニカルの数进行指定する >	・ ・ ・ ・ 13
< 色を変える：各種テクニカル、移動平均線の色を、この画面で変える >	・ ・ ・ ・ 13
4. 使いたいものはどこにある？ よく使うものは、別置きするぞ！	・ ・ ・ ・ 15
<使いたいもののほとんどは、スピードボタンにある>	・ ・ ・ ・ 15
< そのボタンで何ができるか？ 知りたい >	・ ・ ・ ・ 15
<よく使うものを、すぐ使えるようにする（ユーザーツールバー）>	・ ・ ・ ・ 15
< ユーザーツールバーの登録の方法 >	・ ・ ・ ・ 15
< ユーザーツールバーの削除と、順番の変更 >	・ ・ ・ ・ 17
[削除]	・ ・ ・ ・ 17
[表示されている、名前を変える]	・ ・ ・ ・ 17
[順番を変える]	・ ・ ・ ・ 18
[順番を変える方法 その 2]	・ ・ ・ ・ 18
5. さあ使うぞ、F ちゃ。	・ ・ ・ ・ 19
5-1 毎日のデーター取得	・ ・ ・ ・ 19
<バージョンアップと日々データー更新>	・ ・ ・ ・ 19

〈 バージョンアップデーターをとろう 〉	・ ・ ・ ・ ・ 19
〈 日々のデーターを取る 〉	・ ・ ・ ・ ・ 19
5-2 チャート表示の基本 スピードボタン	・ ・ ・ ・ ・ 19
<スピードボタン>	・ ・ ・ ・ ・ 19
〈 たいていのものが揃っている、スピードボタンを、チェック 〉	・ ・ ・ ・ ・ 19
〔 使われる頻度が高いベスト 10〕	・ ・ ・ ・ ・ 19
5-3 コード入力 と コード番号検索	・ ・ ・ ・ ・ 20
<コード入力>	・ ・ ・ ・ ・ 20
<見たい株価のコードがわからないとき>	・ ・ ・ ・ ・ 20
5-4 ライン入力	
<使われる頻度が高いベスト 5： 引く、1 本消す、全部消す、移動させる、終わる方法>	・ ・ 20
〈 ラインを消す 〉	・ ・ ・ ・ ・ 21
〔 引いたラインを 1 本消す 〕	・ ・ ・ ・ ・ 21
〔 引いたラインを全部消す 〕	・ ・ ・ ・ ・ 21
〈 引いたラインを移動させる 〉	・ ・ ・ ・ ・ 21
〈 ライン編集を終わる 〉	・ ・ ・ ・ ・ 21
5-5 銘柄登録	・ ・ ・ ・ ・ 21
<使われる頻度が高いベスト 5 ： 登録、ラベル名変更、削除、移動、ラベル色変更の方法>	21
〈 注目銘柄登録方法 ：コード番号で登録する 〉	・ ・ ・ ・ 21
〈 注目銘柄の名前（ラベル）を変える 〉	・ ・ ・ ・ 22
〈 登録銘柄の削除 〉	・ ・ ・ ・ 22
〔 登録銘柄を、1 銘柄だけ削除する 〕	・ ・ ・ ・ 22
〔 登録銘柄を、1 行分まとめてごっそり削除する 〕	・ ・ ・ ・ 22
〈 登録銘柄の移動 〉	・ ・ ・ ・ 22
〔 登録銘柄を、1 銘柄だけ移動させる 〕	・ ・ ・ ・ 22
〔 登録銘柄を、1 行分ごっそりコピーして移動させる 〕	・ ・ ・ ・ 23
〈 登録銘柄の色を変えたい 〉	・ ・ ・ ・ 23
<銘柄登録をするぞ 2 ： チャート画面上から注目銘柄に登録する>	・ ・ ・ ・ 23
5-6. 複合・連続・複数 表示	・ ・ ・ ・ 24
<複合表示：同一銘柄の「月足、週足、日足」や「週足、日足」を、1 画面に表示する>	・ ・ 24
<連続表示>	・ ・ ・ ・ 24
<複数表示>	・ ・ ・ ・ 25
〈 分割数を設定する 〉	・ ・ ・ ・ 25
〔 例えば、1 画面に 4 つの銘柄を表示させる方法 〕	・ ・ ・ ・ 25

[自分の好きな個数を表示させたい]	・・・25
〈 注目銘柄に登録した銘柄を見たい 〉	・・・25
[例えば、注目銘柄（A）に登録した銘柄を、4つずつ見る方法]	・・・25
[いろいろな銘柄を、複数表示させて見たい]	・・・26
〈 複数で表示させている銘柄を、全画面で見たい 〉	・・・26
〈 全画面にしたあと、再度、複数表示画面に戻したい 〉	・・・26

F チャを入れる（有料 CD）編

*パソコンが苦手だったら、有料版が、絶対おすすめ！ です。

日々データ更新やバージョンアップ、分割や新規上場の置き換え！ の難しくてわかんねーや、手動更新の煩わしさから解放されます。有料版、いれてしまえばあとは自動。
パソコン苦手な私には、これだけでも有料版導入の価値がありました

* ウィンドウズ x p、ウィンドウズ 7 用取説です。（ビスタ、win8 もほぼ同じでいけるそうです）

* 『』は、[『』上で左クリック](#)

[青文字は左クリック](#)

[緑文字はパソコンのキーボードの入力](#)

[橙文字は右クリック](#)です

* クリックとかいてあったら、左クリックです。

これは、 パソコンが苦手な人が作った
パソコンが苦手な人のためのまにゅあるです

[青字をたどっていったら、インストールできる](#)（はずだ）。

あいだの黒字は、すっとばしていいです。

このマニュアルは、すべて、とにかく色をたどってください。

わかんなくなったら、色文字を追ってください！

青文字はクリックのシルシ

[青文字をたどって青文字を左クリック](#)。

がんばるぞ！ おー！！！！

1. まずはパソコンに、Fチャートをいれなきゃね

最初にお約束！ とにかく色文字をたどってください！

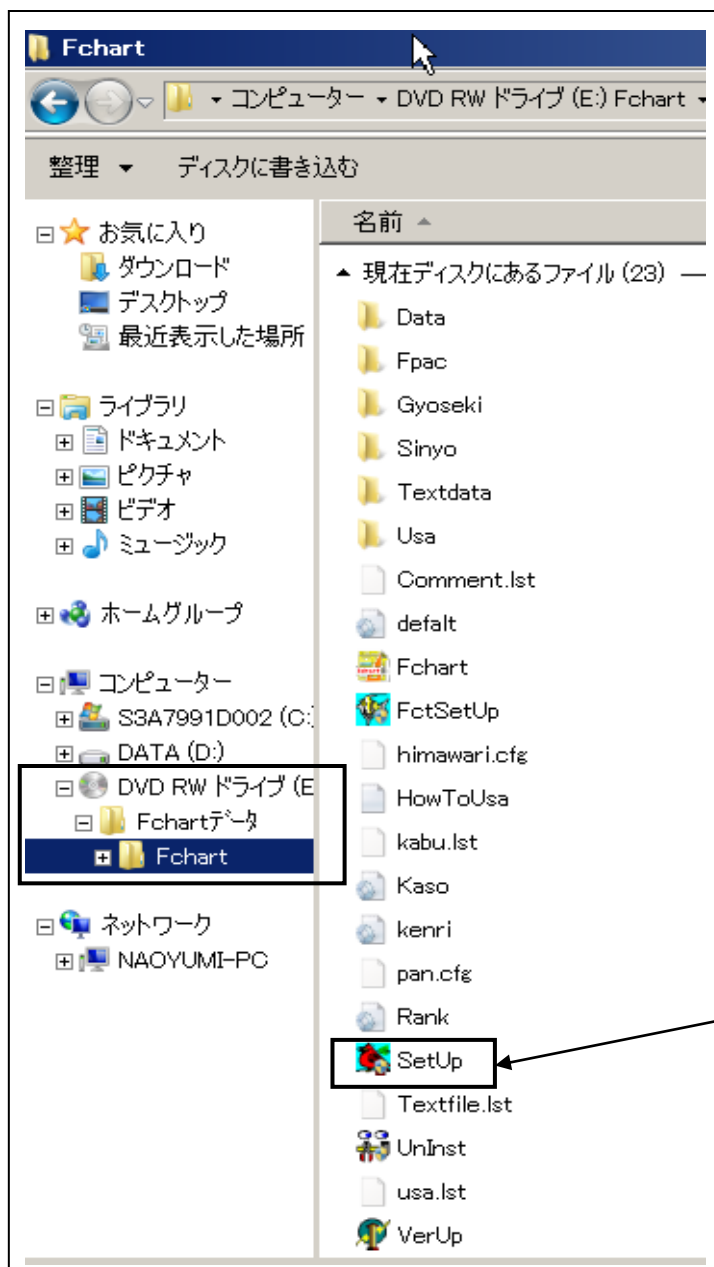
青文字たどって青文字クリック！

<インストールするぞ>

→ CD を、パソコンの CD ドライブに入れる。

注) ユーザー登録が済むまで、入れっぱなし。

CD-ROM が、自動で再生されるのを待つ。



普通は自動で動き出すけれど、万一自動で動き出さなかった場合は、以下をやる。

→ 『スタート』

PC 画面左下のスタートボタン

→ 『コンピュータ』

または 『マイコンピュータ』

→ 「リムーバブル記憶記があるデバイス」の文字をみつけて、
青文字たどって青文字クリック

『CD-ROM』とか『DVDRW ドライブ』とか、CD の絵がついているもの。

再生されたら

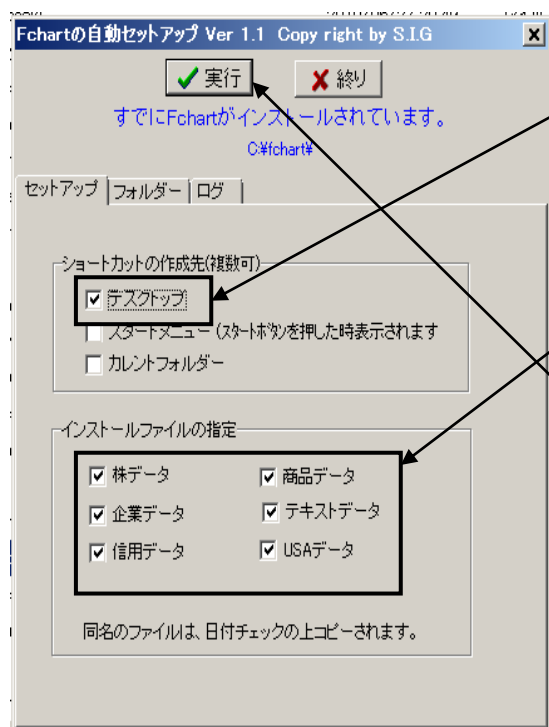
→ 『F chart データ』クリック

→ 『F chart』クリック

→ 『Set Up』クリック

SetUp は、赤い鳥

→青帯白抜き文字「Fchartの自動セットアップ Ver** Copy right by 参加用」の四角枠がでてる。



→「デスクトップ」にチェックを入れる。

マウスをチェック欄の上においてクリックすると入る。

「スタートメニュー」は、好みで、チェックを入れてもいれなくても。

→「インストールファイルの指定」のチェック欄に、全部チェックが入っているのを確認する

→『実行』

枠内上部にある「実行」クリック

→『OK』

インストールしていいよね？ ときいてくるから OK

→『OK』

セットアップを終了しました。と出るからOK

→『終了』または、『×』

上記の枠が、また出てくる。

枠の上部の「終わり」か、枠最上部の右上にある×をクリック

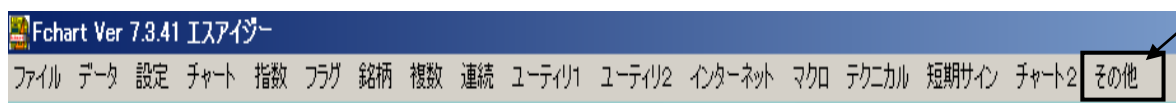
これで、デスクトップにもどりました。

<ユーザー登録するぞ>

→デスクトップのアイコンから、『Fchart(F チャート)』をクリック。 黄色とオレンジの絵

Fチャートをたちあげる

→画面、上から2段目のグレーの帯（メニューバーといいます）の中の『その他』クリック ここ



→『ユーザー登録』

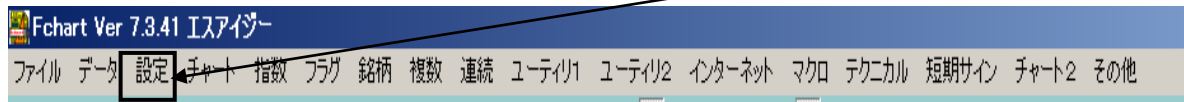
→User ID欄に、IDが入っていることを確認して『OK』

普通は入っているが、万一入っていなかったら、手入力

→CDをパソコンから出す。これ以降なら、どこで出してもいい。

<各種データーを、リンクさせるぞ>

→上から2段目メニューバー（画面上部グレーの帯）の中の『設定』 ここ



→『銘柄リストと各種データを纏めてリンク』

→『企業ファイルへのリンク』

普通は 企業ファイルのディレクトリー「C:\FCHART\GYOSEKI」

企業ファイル名「KIGYO.DAT」と入っているが、万が一入っていなかったら、手入力

→『実行』

→『OK』 リンクが終了しましたと出てくるから、OK

ここから先、次の作業が、ウィンドウズ7とXPでは違う（らしい）

ウィンドウズ7の場合は、勝手に信用データのリンクに入る

→「銘柄リストと信用データファイルをリンクします」画面が出てくるから『実行』

→「銘柄データと信用データをリンクしました」と出てくるから『OK』

→『終わり』

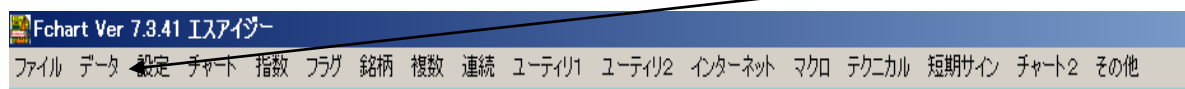
→画面上部 『×』で、閉じる

これで、デスクトップにもどりました。

ウィンドウズXPの場合は、上記作業で行ける場合と、いけない場合がある。

行けないときには、自分で信用データファイルに入りに行く

→メニューバー（画面上部グレーの帯）の中の『データー』 ここ



→一番上『株価・信用データ管理（追加、訂正、リンク）』

→「銘柄リストと信用データファイルをリンクします」画面が出てくるから『実行』。

出ていないときには、『信用データとのリンク』をクリックしたら出てくる ここ



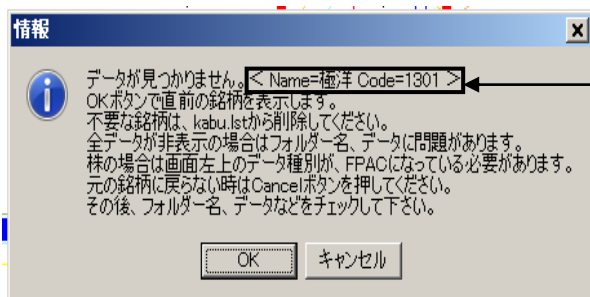
→「銘柄データと信用データをリンクしました」と出てくるから『OK』

→『終わり』

→画面上部 『×』で、閉じる

これで、デスクトップにもどりました。

注意！ こんなん出てきたら



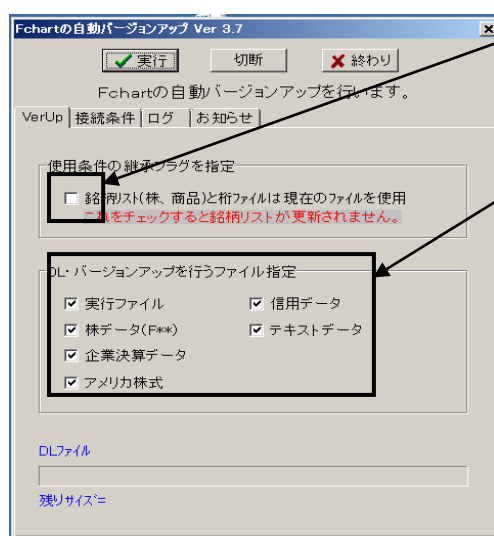
こんな画面が出てきたら、<>の中に銘柄名が、山ほど出ないかぎり

『OK』でいいです。
閉じちゃってください。

<バージョンアップとデータとりするぞ>

→デスクトップにある『Verup(Fチャート)』クリック

緑の○の中に1と稲妻の絵



→「使用条件の継承フラグの中の銘柄リストうんぬん」には、チェック入れないこと

→「DLバージョンアップを行うファイル指定」は、全部チェック

→枠内上部『実行』

しばし待たれよ。最新プログラムが取り込まれる

★《注意！「ファイル解凍に必要な UNLHA32DLL が見つかりません」と、出ちゃったら》

<http://www.forest.impress.co.jp/>

↑ここをクリック。

クリックできないときは、パソコンのキーボードの「CTRL」を押しながらクリック

それでもうまくいかないときはヤフーやグーグルなどの検索サイトで「窓の杜」と入れて検索。窓の杜のHPを探す

これは、フリーソフトサイト「窓の杜」のアドレスです。

→『圧縮・解凍・ランタイム』クリック 画面上方から中程度にある「窓の杜ライブラリ」にある

→『機能拡張 DLL』クリック

→『UNLHA32.DLL』クリック

→『ダウンロード』クリック

ここから先、インターネットエクスプローラ と、ファイアーフォックス で少し違う



インターネットエクスプローラを使っている場合 (いつも見る絵がコレ)

→画面下の方に、「ULH3267A.EXE(555KB)を実行または保存しますか？」と出てくるので
『保存』をクリック



ファイアーフォックスを使っている場合 (いつも見る絵がコレ)

ダウンロードをクリックして、数秒待つと、下図が出てくる。



『ファイルを保存』をクリック

ここから先は、IE でもファイアフォックスでも同じです。

→ダウンロードが済んだらデスクトップに戻って画面下の左端『スタート』

→xp なら『マイドキュメント』、

win7 ならスタートを押したら出てくる左右に分かれた枠の中の、右側の枠の中の上部、ドキュメントの上、絵の下の『個人用フォルダ (名前はひとによって違う。自分でつけた名前)』クリック

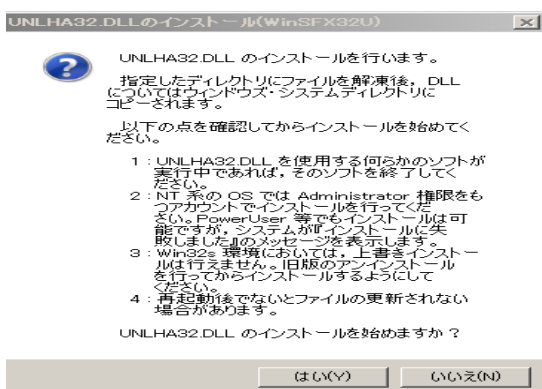
→『ダウンロード』

→『ULH3267A』をみつけて、電子レンジ型のアイコンクリック

バージョンが変わっている場合でも、だいたいこんな名前。

心配なら、上記で「保存」とか「ファイルを保存」するときの名前を見てもいいかも。

→「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか」と聞いてきたら 『はい』



←こんなのが出てくるから『はい』

あとは、言ってきたとおりに進む

→インストールがすんだら

→再度デスクトップにある『Verup(Fチャート)』をくりーつく！

→『実行』

しばし待たれよ。今度こそ最新プログラムが取り込まれる

→注意！ たまにダメな時がある。

その場合は、PCの電源を落として、再起動

→パソコンがたちあがったら！ デスクトップにある『Verup(Fチャート)』をくりーつく！

→『実行』

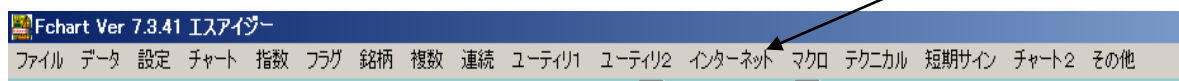
しばし待たれよ。今度こそ、今度こそ最新プログラムが取り込まれるに決まってる！

(今のところ、ここまでやってダメだったことがないです。)

<日にちデーターを取り込むぞ>

→デスクトップ上のアイコン『Fchart (Fチャート)』クリック

→上部グレーの帯（メニューバー）の中の『インターネット』



→『株価・日々データーの自動追加』クリック

→『詳細設定』クリック

→もし、外国銘柄は入らなくてもいいとか、米国株はいらないなどかと思ったら、チェックをはずす。
その日のデーターをとって、そのままチャートを見るのなら、『インターネットは終了後切断』の
チェックを外す

とくに何もなかったら、そのまんまにしておく。

「詳細設定」は、1回設定したら、毎回やらなくてよい。

→『OK』 で、もとの画面に戻る

→データーソース欄の『▼』を押して『edatala b (終値)』を選ぶ

これが一番人気なので、基本編として edatala b (終値) でいきます。

→『実行』

やったね！

これでインストール関連は完了です

これから先もずっと 青文字は左クリックのシルシ。青文字たどって、青文字クリック！

2. 何を表示させるかを設定

とにかく何も考えずに、まんま真似して、シンプル顔のチャート画面をつくる。
ここからなら、あとあと自分好みに変えていきやすいから、まずこのカオネ。



<上から6段目の帯のなかをいじる>

→上から6段目の、「チャート」「銘柄リスト」「注目編集」・・・と並んでいる
グレーの帯の『設定』をクリック

この帯

下の画面が出てくるから、**同じところにチェックをいれる。**

左クリックで黒丸がつき、黒丸の上でクリックすると消える。

☒ クリックで即、チャート表示画面へ移行。

チャート種別

- ☒ ローソク足
- ☐ バーチャート
- ☐ 折れ線チャート
- ☐ 複合チャート(週,日)
- ☐ 複合チャート(月,週,日)
- ☐ 複合チャート(月,日)
- ☐ 練り足 ☐ 額 ☐ 率
- ☐ 新値足 ☐ P
- ☐ 出来高対応チャート
- ☐ 平均足 ☐ P
- ☐ 八重咲く菊の ** 野線
- ☐ 同上 (髭付き)

株価指標

- ☒ 株価移動平均線
- ☐ 一目均衡表 ☐ P
- ☐ ボリンジャーバンド ☐ P
- ☐ エンベロープ ☐ P
- ☐ SAR ☐ P
- ☐ HLバンド1 ☐ P
- ☐ PLドット ☐ P
- ☐ N値の時系列表示 ☐ P ☐ 損
- ☐ パラボリック ☐ P

出来高指標

- ☐ 出来高のみ
- ☒ 出来高移動平均線
- ☐ 信用残
- ☐ 騰落レシオ

その他

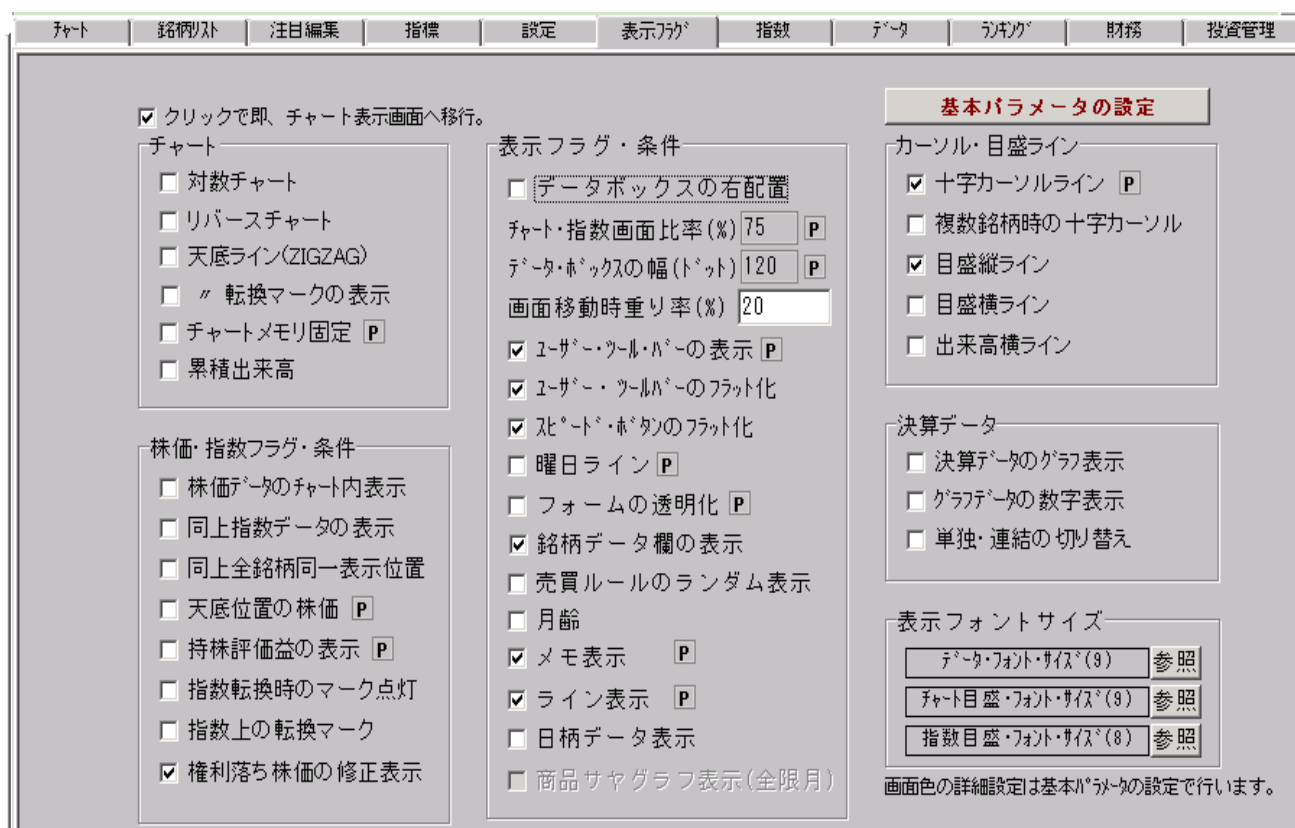
- ☐ 3点チャージサイン(任意) ☐ P
- ☐ 押目買い、戻売りサイン ☐ P
- ☐ 予想データチャート
- ☐ 中源線 ☐ P
- ☐ 総合指数サイン
- ☐ 篠原レシオ ☐ P

→上から6段目の、グレーの帯の『表示フラグ』くりつく。

上でやった「設定」の右隣にある。

下図と**同じところにチェックを入れる**。

見るのはチェックだけ。数字はすつとばして、チェックだけ同じところに入れる。

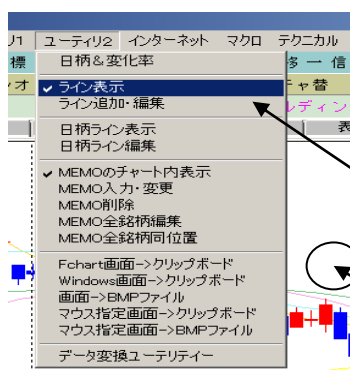
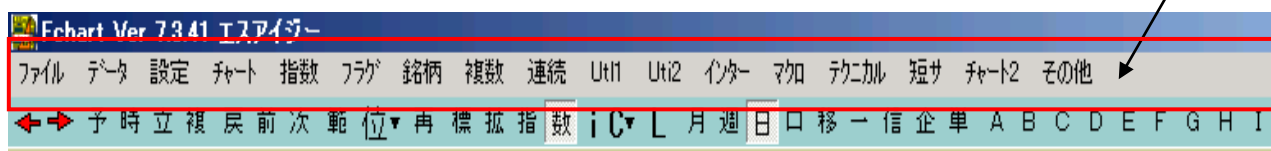


→左端『**チャート**』ボタンをクリック。

これで、チャートの画面に戻った。

<上から2段目のグレーの帯、メニューバーをいじるぞ>。

上から2段目の「ファイル」「データ」「設定」「チャート」・・・とならんでいる この帯の中



- ・チェックを入れたいときは、入りたい項目の上にマウスを動かすと、青色帯が出るから、そこで左クリック。
- ・チェックを外したかったら、チェックのついている項目の上にマウスを動かして青転させて、左クリック
- こんな状態にして、クリック
- ・変更点がなかったら、出てきたグレーの囲みの外で、左クリック
- このあたりの、ようは、枠のそとでクリック

上記の、「設定」「表示フラグ」のチェック入れ操作で、ほとんどチェックは入ってる。
以下全部、チェックを確認。入っていないものにチェックを入れていく。

→『設定』 の上でクリック

ユーザー・ツールバーの表示

ユーザー・ツールバーをフラット表示

スピードボタンをフラット表示

表示範囲のデーターのみ読み込み (スピード Up)

データー・ボックスを表示

チャート・指数メモリを右側に配置

のチェック確認

→『チャート』 の上でクリック

ローソク足

のチェック確認

→『指数』 の上でクリック

株価移動平均線

出来高移動平均線

のチェック確認

→『フラグ』 の上でクリック

株価メモリを呼値刻みで表示

銘柄データーをコメント窓へ表示

権利落ち株価の修正表示

同 出来高の修正表示

出来高の表示

十字船カーソル

チャート内の目盛ライン (縦)

のチェック確認

→『銘柄』 の上でクリック

〃 上場廃止全銘柄の非表示

のチェック確認

→『Uti2』または『ユーティリ 2』 の上でクリック

ライン表示

MEMO のチャート内表示

のチェック確認

ここまでで、何を表示させるか設定関連終わり。

F チャに慣れてきたら、自分が使いやすいように、「設定」「表示フラグ」に入れたチェックを変えていく。(P7,P8 参照)

ここから先も、ごちゃごちゃしてわかりにくかったら
色文字だけ見て進むのだ！ 青文字たどって、青文字クリック！

3. チャートの見た目を変える

<チャート画面の大きさを変えるぞ>

全画面中、チャートをどれくらいの大きさにするか設定する。

例として、全体の 65%を、チャートにしてみる。

→上から6段目の、「チャート」「銘柄リスト」「注目編集」・・・と並んでいるグレーの帯の

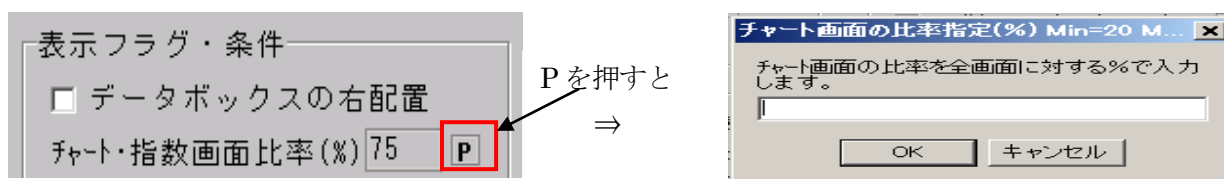
『表示フラグ』をクリック

ここ



→画面が変わる。でてきた画面の、まんなかあたり

「表示フラグ・条件」枠の中の『P』をクリック。



→半角で『65』と入れて、『OK』

左端から 65 と入力。『』は、いらないよん。OK をクリックしたら、左上の図の 75 になっているところに 65 と出ているはず。

→終わったら、「表示フラグ」と同じ帯にある、上から6段目の左端『チャート』をクリックすると、チャート画面に戻る

<チャート画面背景色や、そのほか背景色、線の色 ナド を変えるぞ>

色は初期設定のままでいい、変える必要ないよという人は、ここをとばして、次に行こう。

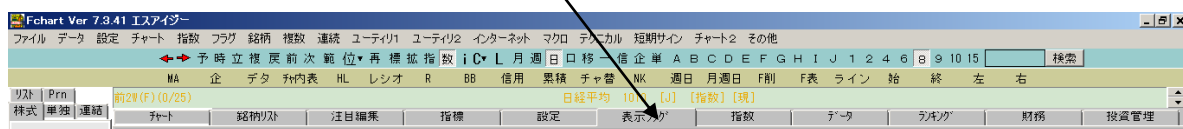
ここは、いつでもできるので、後回しにするのも OK

注意！ チャート画面の背景の色を変えたい人は

最初に、「03 : ChartBox の背景色」で背景の色を設定すること。

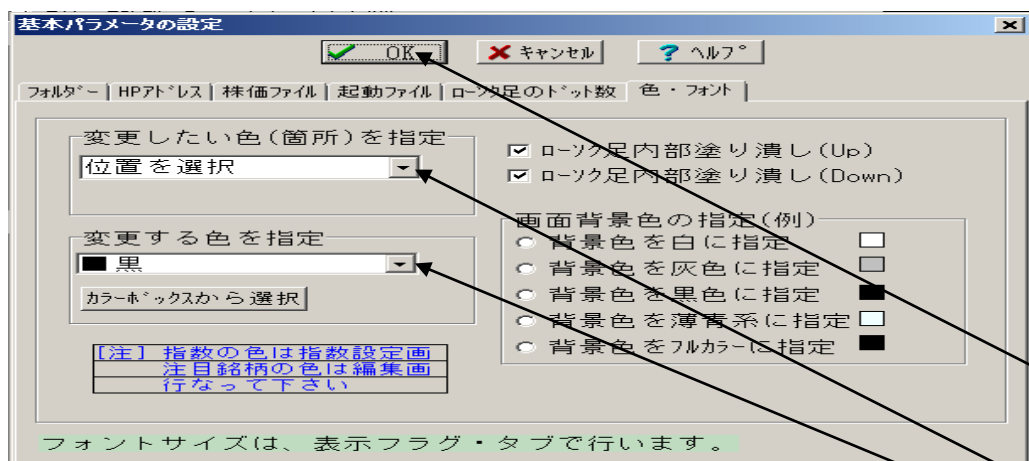
背景色の変更を最後にやると、全部の色が設定前に戻ってしまって、泣くことになる。

→上から6段目の、「チャート」「銘柄リスト」「注目編集」・・・と並んでいるグレーの帯の『表示フラグ』をクリック 　　ここ



→画面が変わる。でてきた画面の、右上、『基本パラメータの設定』をクリック

→枠がでてくるから、枠内の右端『色・フォント』をクリック。下図が出てくる。



→変更したい色（箇所）を指定 「位置を選択」右横の『▼』をクリック

→いっぱいでてくる。『03 : ChartBox の背景色』を選んでクリック

→変更する色を指定 「■黒」右横の『▼』をクリック

→出てきた色から、変えたい色の上で、クリック

『カラーボックスから選択』もできる。

『カラーボックスから選択』をクリック → その後の手順はP13 参照

→この手順で、変えたい色を変えていき、全部やったら、最後に『OK』をクリック

ちなみに、参考例のシンプル画面で、初期設定から変えてあるのは

03 : ChartBox の背景色 白・・・これだけは最初に設定！ 白でも黒でも最初に色を決めてしまうこと。

14 : 上昇時ローソク足	赤
15 : 下降時ローソク足	青
17 : 指数ラインの色 1	青
18 : 指数ラインの色 2	赤
19 : 指数ラインの色 3	緑

に変更してあります。

＜チャートにテクニカル指標を入れるぞ。移動平均線や、MACD とか RSI とか＞

〈 移動平均線を入れるぞ 〉

→上から6段目の、「チャート」「銘柄リスト」「注目編集」・・・と並んでいるグレーの帯の

『指数』クリック

ここ



以下の画面が出てくる。

株価/日足用 計算周期

一目均衡(転換,基準) 9,26 (推奨 9,26) 汎用色指定 1 2 3 4 5 6
 一目均衡(先行,遅行) 52,26 (推奨 52,26) (この色は株移動など共通で使用)

株価移動平均線種別 単純移動平均

株価移動平均線 10,25,75,0,0,0

出来高移動平均線 5,0,0

表示指数の数(MAX=6) 1

同総合サイン用(MAX=6) 0

総合サイン用平滑 4

総合サイン用転換レベル 50,-50

指数 1 --- MACD 12,24,9 50,50

指数 2 --- RSI 9,0,0 -20,20

指数 3 --- MACD 12,24,9 50,50

指数 4 --- STC(slow) 7,4,10 50,50

指数 5 --- ウィリアム%R 5 20,70

指数 6 --- 相対強弱 10 -10,10

→株価移動平均線 一般的な 10 日、25 日、75 日をいれてみる。

株価移動平均線横の四角枠の左端で、クリック。

ここ

左端から、パソコンのキーボードから半角数字で『10,25,75,0,0,0』と入れる。

『』はいらない。数字と , だけ 10,25,75,0,0,0 と入力する。

半角にするには、キーボードの、左上の上から 2 段目「半角/全角」を押す。

〈 出来高移動平均線を入れるぞ 〉

株価移動平均線から、3 つ下。入れ方は、株価移動平均線と同じ。

〈 自分が使いたいテクニカルを入れるぞ 〉

出来高移動平均線 5,0,0

表示指数の数(MAX=6) 1

同総合サイン用(MAX=6) 0

総合サイン用平滑 4

総合サイン用転換レベル 50,-50

指数 1 --- MACD 12,24,9 50,50

指数 2 --- RSI 9,0,0 -20,20

指数 3 --- MACD 12,24,9 50,50

指数 4 --- STC(slow) 7,4,10 50,50

指数 5 --- ウィリアム%R 5 20,70

指数 6 --- 相対強弱 10 -10,10

ここ

例 MACD が入りたい

→ 「指数 1」 --- の四角枠の右横の『▼』クリック

ずらっと出てきたテクニカル指標から、**MACD** の上までマウスを動かし、青く反転させて、クリック

同様に、入りたいテクニカル指標を、「指数 2」以降、同じ操作で入れていく。

〈 画面に表示させたいテクニカルの数指定する 〉

シンプル画面の例はテクニカルが MACD1 つだけど、もっと表示させたいなら、6 つまで表示できる。

例えば **2 つ** 表示させたい場合

出来高移動平均線	5,0,0				
表示指数の数 (MAX=6)	1				
同総合サイン用 (MAX=6)	0				
総合サイン用平滑	4				
総合サイン用転換レベル	50,-50				
指数 1 ---	STC(slow)	7,4,10	50,50	■ ■ ■ ■	太線
指数 2 ---	RSI	9,0,0	-20,20	■ ■ ■ ■	太線
指数 3 ---	MACD	12,24,9	50,50	■ ■ ■ ■	太線

「表示指数の数 (MAX=6)」の横の四角枠の中の左端でクリック。

パソコンのキーボードの『DEL』を押して、枠内の数字を消して、『2』と入力する。ここ

『』はいらない。2 だけ入力

2 と入れると、上の図だと、上から二つ、ストキャスと RSI が、チャートの下に表示される。

→ 同じ帯、上から 6 段目のグレーの帯の左端『チャート』をクリックすると、チャート画面に戻る

〈色を変える：各種テクニカル、移動平均線の色を、この画面で変える〉

一目均衡 (転換, 基準)	9,26	(推奨 9,26)	■ ■ ■ ■ ■ ■	ユーザー定義指標
一目均衡 (先行, 遅行)	52,26	(推奨 52,26)	■ ■ ■ ■ ■ ■	保存
株価移動平均線種別	単純移動平均		この色は株移動など共通で使用	読み
株価移動平均線	10,25,75,0,0,0			? ヘルプ
変化率平滑	8,8,8	(ex 8,8,8 など, 0.0,0 で平滑なし, 短, 中, 長)		
移動平均平滑	3,3,3	(ex 3,3,3 0.0,0 で平滑なし, 短, 中, 長)		
出来高移動平均線	5,0,0			
表示指数の数 (MAX=6)	1			
同総合サイン用 (MAX=6)	0			
総合サイン用平滑	4			
総合サイン用転換レベル	50,-50			
指数 1 ---	ユーザー定義指標 4	7,13,25	0,0	■ ■ ■ ■ ■ ■
指数 2 ---	RSI	9,0,0	-20,20	■ ■ ■ ■ ■ ■
指数 3 ---	MACD	12,24,9	50,50	■ ■ ■ ■ ■ ■
指数 4 ---	STC(slow)	7,4,10	50,50	■ ■ ■ ■ ■ ■
指数 5 ---	チャート %R	5	20,70	■ ■ ■ ■ ■ ■
指数 6 ---	チャート %I	10	-10,10	■ ■ ■ ■ ■ ■

上から 6 段目のグレーの帯の『指数』クリック

この画面の、赤○、赤□で囲った色つきの口は、色が変わる。

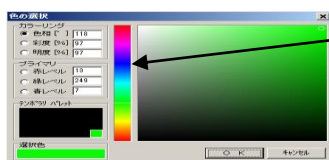
ヨコに 6 つ並んでいる口の色は、移動平均線の色に対応している。

変えたい色の上にマウスをもってきて、クリックすると、色変ができる。

例えば、この黄緑を青に変えてみる



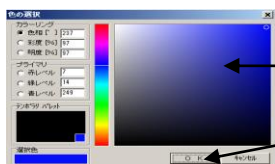
黄緑の上でクリック



好みの青の上でクリック



右の面の色が、下図のように変わる。

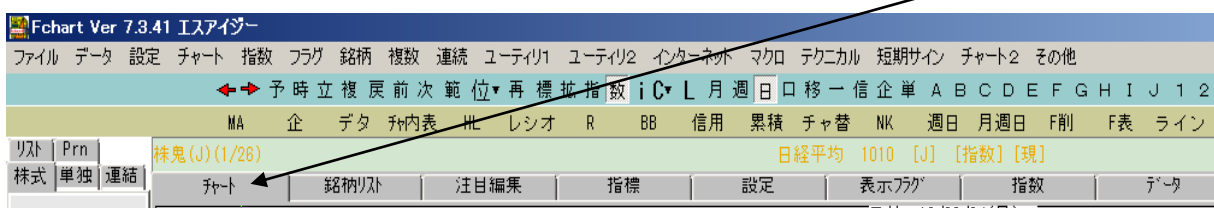


パステルからビビッドまで

右の面で、好みの青の濃さのところでクリック

『OK』

→上から 6 段目のグレーの帯の左端『チャート』をクリックすると、
チャート画面に戻る



初期画面を作るぞ編は、これで終わり。
おつかれさまでした。

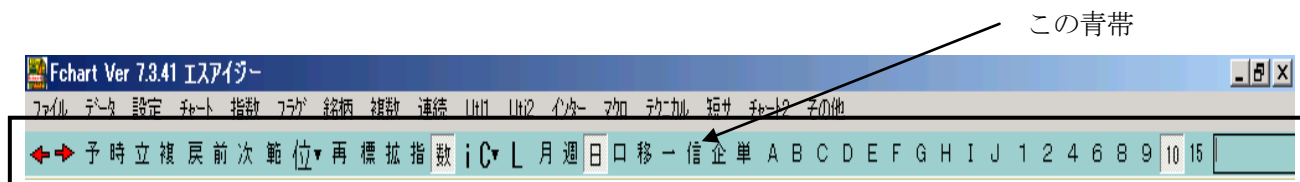
4. 使いたいものはどこにある？ よく使うものは、別置きするぞ！

<使いたいもののほとんどは、スピードボタンにある>

スピードボタンの使い方です。

上から3段目の青い帯（スピードボタン。四角でかこったところ）に、ほぼすべて揃っています。

何かを探すときには、スピードボタンを最初に探そう

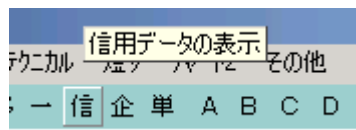


<そのボタンで何ができるか？ 知りたい>

マウスを、文字の上まで動かすと、上に何ができるか出てくる。

クリックするのではなく、マウスを動かして、青帯の中の、字の上におく

例えば 『信』の上に置くと、「信用データの表示」と出てくる

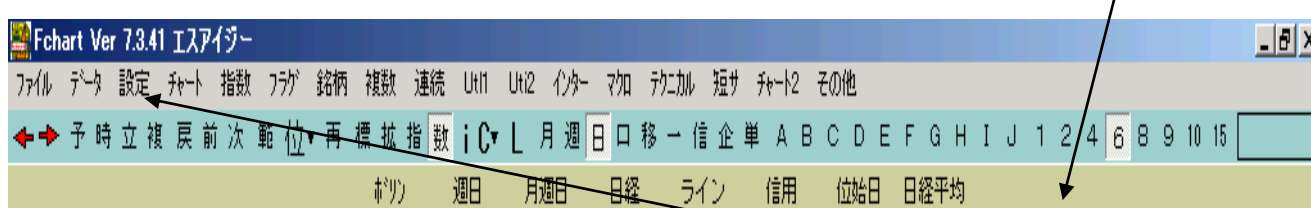


『信』の上で1回クリックすると、信用買残、売残の折れ線グラフが、チャートの下部に**出てくる**もう1回クリックすると、**消える**

<よく使うものを、すぐ使えるようにする（ユーザーツールバー）>

ここは、後回しでも、全く支障ない。使い慣れてからやる人も多い

上から4段目、薄茶色の帯（ユーザーツールバー）に、よく使うものを登録する。この帯に登録する



<ユーザーツールバーの登録の方法>

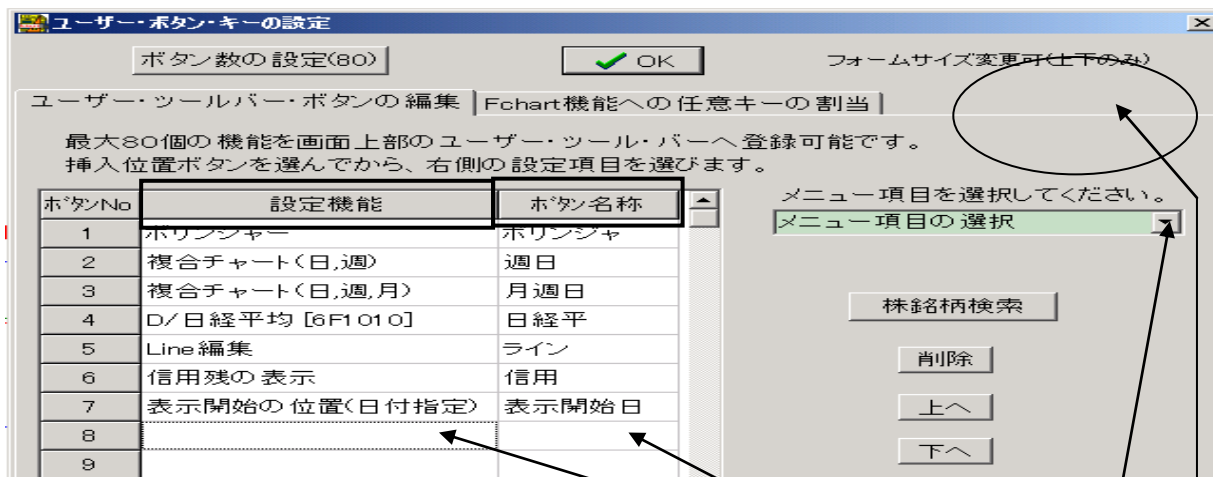
例えば、「ボリンジャーバンド」と、「複合チャート（日、週）」を登録してみる。

上から2段目、『設定』をクリック

ここ

→出てきた下帯の中から、『ユーザー・ツールバー・キーのカスタマイズ』 クリック。
上から 5 つ目にある。

画面が変わる



→「設定機能」か「ボタン名称」の白枠の中でクリック
並び順は後から変えられるので、白いところでクリックする。

→「メニュー項目の選択」右隣『▼』 クリック

ここ

→ずらっと出てきた一番下『17: 全項目の一覧』の上にマウスをもってきて、クリック

→ずらとでてきた中から『014: ボリンジャー』クリック。

左の表に「ボリンジャー」「ボリン」と入る。

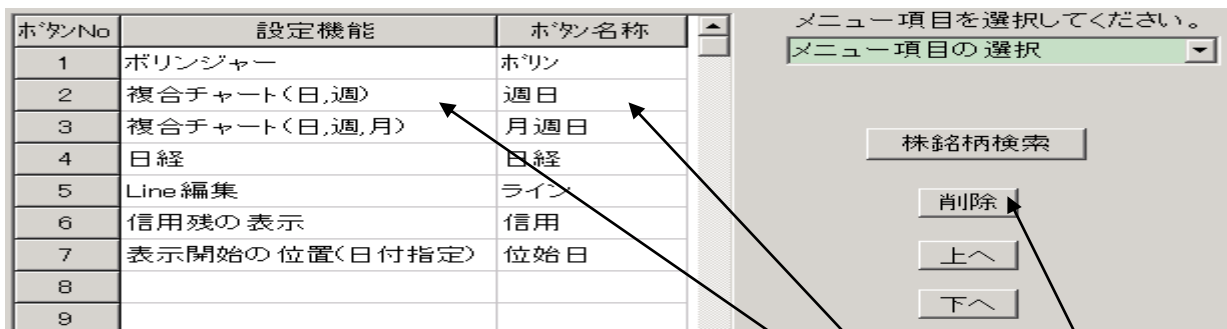
→そのまま、マウスを動かして、『226: " (日、週)』クリック

同じ方法で、自分がよく使うものをクリックしていく。

登録が終わって、変更がなければ『OK』 チャート画面に戻る

→削除したいものがあったり、順番を変えたいものがあったりしたら

マウスを動かして ○のあたりでクリック。ようは、下に伸びた帯の外でクリック この辺



例えば、表の中の「複合チャート (日、週)」を消したいとする。

→表の中の『複合チャート (日、週)』または『週日』の上で、クリック どちらか

→『削除』 ボタンクリック

ここ

例えば、表の中の「複合チャート（日、週）」を、下に下げたいとする。

→『複合チャート（日、週）』または『週日』の上で、クリック → 『下へ』 ボタンクリック

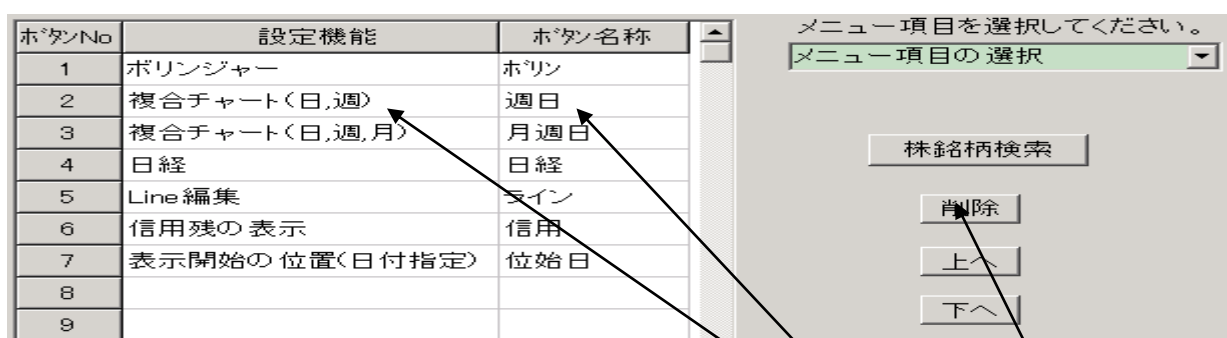
→終わったら、画面上部『OK』クリック。 チャート画面に戻る

〈ユーザーツールバーの削除と、順番の変更〉

〔 削除 〕

上から 2 段目のグレーの帯、『設定』クリック

→出てきた下帯の中から、『ユーザー・ツールバー・キーのカスタマイズ』 クリック



例えば、表の中の「複合チャート（日、週）」を消したいとする。

→表の中の『複合チャート（日、週）』または『週日』の上で、クリック どちらか

→『削除』 ボタンクリック

→終わったら、画面上部『OK』クリック。

これでチャート画面に戻りました

〔表示されている、名前を変える〕

チャート画面の上から 4 段目、ユーザーツールバーに出てくる名前を変える。

例えば、「ボリン」を、「BB」に変えたいとする

上から 2 段目のグレーの帯、『設定』クリック

→出てきた下帯の中から、『ユーザー・ツールバー・キーのカスタマイズ』 クリック

→『ボリン』の上で、ちょっとゆっくりめに、2回クリック。

ボリンが青転している状態でキーボードの『Del』キーを押す。

ボリンが消えるので、『BB』と入力する

ボタンNo	設定機能	ボタン名称
1	ボリンジャー	ボリン ← 青転
2	複合チャート(日,週)	週日

→終わったら、画面上部『OK』クリック。

これでチャート画面に戻りました

〔 順番を変える 〕

例えば、表の中の「複合チャート（日、週）」を下に下げたいとする。

→『複合チャート（日、週）』または『週日』の上で、クリック

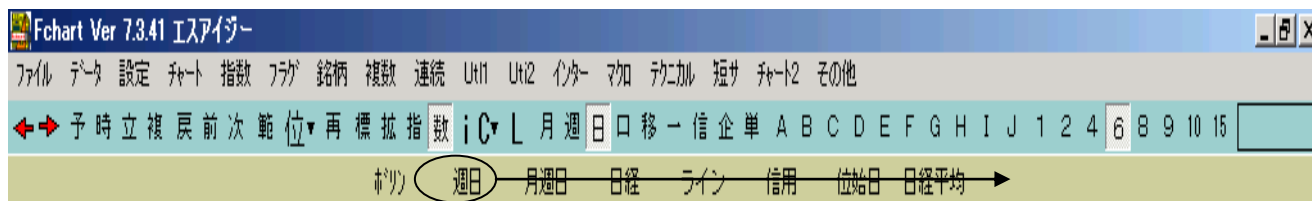
→ 『下へ』ボタンクリック

→終わったら、画面上部『OK』クリック。

これでチャート画面に戻りました

〔 順番を変える方法 その2〕

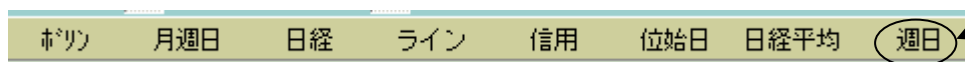
上から4段目、薄茶色の帯（ユーザーツールバー）



「週日」の上、○あたりで左クリックし、指を放さず、押しっぱなし

押したまま、「日経平均」の後ろまで、マウスを動かして、指を放すと

ここに入る。



5. さあ使うぞ、F ちゃ。

5-1 毎日のデーター取得

<バージョンアップと日々データー更新>

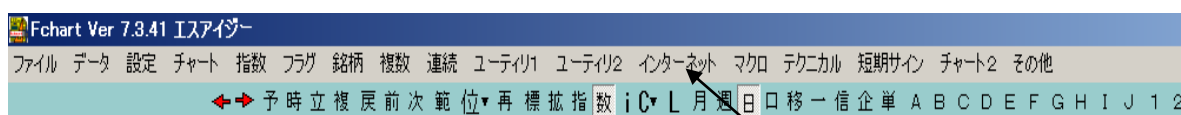
<バージョンアップデーターをとろう>

<バージョンアップとデーターとりするぞ>と同じ作業をやります。P4 参照

→デスクトップにある『Verup(F チャート)』クリック→『実行』

<日々のデーターを取る>

<日にちデーターを取り込むぞ>と、同じ作業をやります。 P6 参照



→上から 2 段目、『インターネット』

ここ

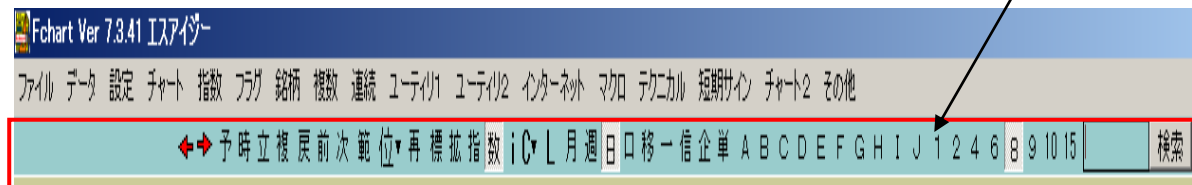
→『株価・日々データーの自動追加』 →『実行』

5-2 チャート表示の基本 スピードボタン

<スピードボタン>

<たいていのものが揃っている、スピードボタンを、チェック>

上から 3 段目、スピードボタンには、使いたい機能のほとんどが揃っている。ここ (P15 参照)



[使われる頻度が高いベスト 10]

- ← . . . チャートが 1 ページ分、左へ行く
- . . . チャートが 1 ページ分、右へ行く
- 次 . . . 連続表示や、複数表示の、次の銘柄を出す
- 再 . . . チャートが壊れたら、押してみる。ほとんどの場合、直す
- L . . . チャート中にラインが引ける (P20 参照)
- 月 . . . 月足
- 週 . . . 週足
- 日 . . . 日足

右端の数字たち . . . 数字が大きくなるほどチャートが拡大され、小さくなるほど表示日数が多くなる
右端の四角と「検索」 . . . コード番号入力箇所

5-3 コード入力 と コード番号検索

<コード入力>

→上から3段目、**広い口枠上**で、クリック



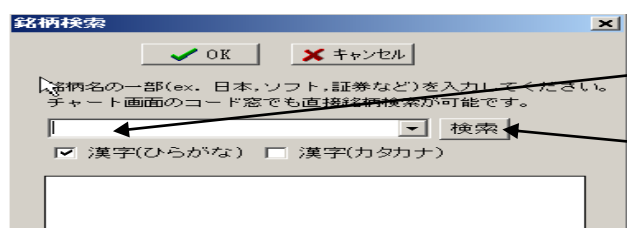
→パソコンのキーボードで、見たい株の、**銘柄コード**を入力

<見たい銘柄のコードがわからないとき>

『**検索**』クリック。

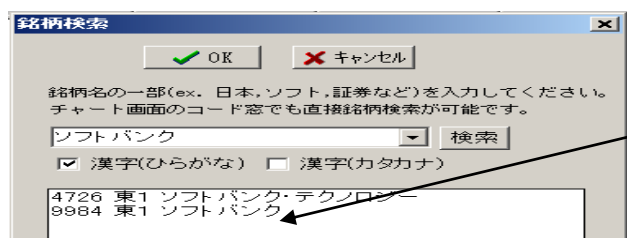
→この欄に、**調べたい銘柄名** を、入力

例えばソフトバンクなら『**ソフトバンク**』



→『**検索**』クリック

↓ これが出てくる



→『**9984 東1 ソフトバンク**』の上にマウスを動かし、クリック

5-4 ライン入力

<使用度ベスト5： 引く、1本消す、全部消す、移動させる、終わる方法>

→上から3段目の青い帯の中の『**L**』クリック。

ライン編集用の帯が出てくる

これ



<ラインを引く>

例えば、赤○の位置から青○までラインを引く場合。

→赤○の位置で左クリック。指を離さず青○までマウスを動かして、青○の位置で指を放す

〈ラインを消す〉

〔引いたラインを 1 本消す〕

→消したいラインの上でクリック

→ライン編集用帯の『削』クリック

〔引いたラインを全部消す〕

→ライン編集帯の『全』クリック

〈引いたラインを移動させる〉

→引いたラインの上でクリック。指を放さず、移動させたい位置まで動かして、指を放す

〈ライン編集を終わる〉

→ライン編集帯の『終』クリック

5-5 銘柄登録

＜使用度ベスト 5：登録、ラベル名変更、削除、移動、ラベル色変更の方法＞

注意：登録された銘柄は、いちど登録画面から外に出ると、自動的にコード順に並びかえられる。

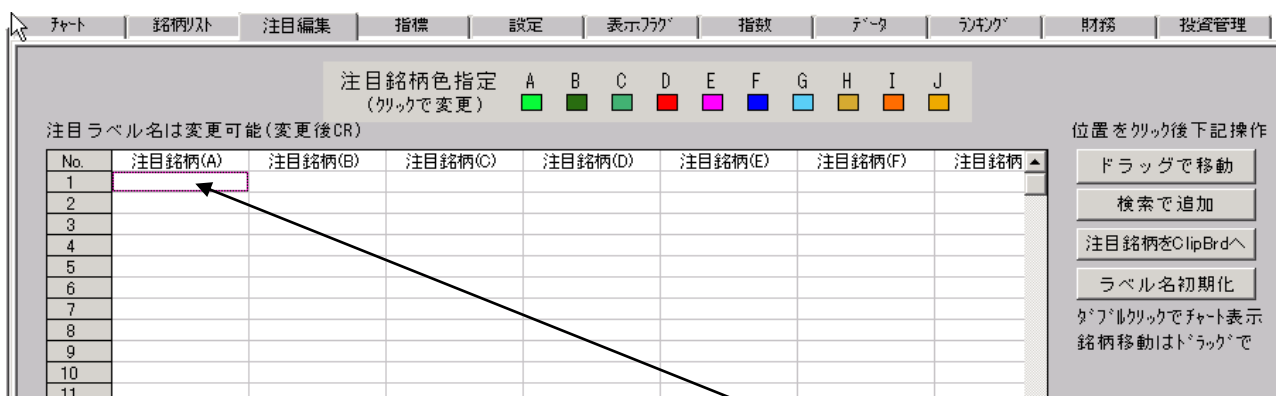
ということで、思いついた順番に入れても、コード順に並びます。

〈注目銘柄登録方法：コード番号で登録する〉

→上から 6 段目のグレーの帯 『注目編集』クリック



画面が変わる



例えば、注目銘柄 (A) に、ソフトバンク(9984)を登録する。

→注目銘柄 (A) の下の、白枠の中で、右クリック

下記画面が出てくる

コード入力
指定行削除
指定注目銘柄の全削除
1銘柄のクリップボードへコピー

「コード入力」を押す
とこうなる ⇒

追加する銘柄コード入力
4桁コード
OK キャンセル

- 『コード入力』の上にマウスを動かしてクリック → 上記の枠ができるから、『9984』と入力→ 『OK』
- 注目銘柄 (A) の白枠の中に、「9984:ソフトバン」と出てくる。
- 登録したいコードをすべて入れ終わったら、見たい銘柄、例えば、注目銘柄 (A) に登録した、『9984:ソフトバン』の上にマウスをもってきて、2回左クリック。
- これで、チャート画面に戻った。

〈注目銘柄の名前（ラベル）を変える〉

例えば、「注目銘柄 (B)」を、「保有株」に変える

- 変えたいラベルの上に、マウスをもってきて、2回左クリック

No.	注目銘柄(A)	注目銘柄(B)	注目銘柄(C)
1			

→ こういう状態になる

- キーボードの『DEL』キーを押すと「注目銘柄 (B)」が消える → 『保有株』と入力、『ENTER』キーを2回押す。

〈登録銘柄の削除〉

[登録銘柄を、1銘柄だけ削除する]

- 削除したい銘柄名の上で、左クリック
- 『右クリック』
- 『指定行削除』の上で左クリック

[登録銘柄を、1行分まとめてごっそり削除する]

- 削除したい行の上、行に入っている銘柄名の上で、左クリック
- 『右クリック』
- 『指定注目銘柄の全削除』の上で左クリック

〈登録銘柄の移動〉

[登録銘柄を、1銘柄だけ移動させる]

例えば、登録銘柄 (A) から登録銘柄 (C) へ、「9983:ファースト」1銘柄だけ移動させる

No.	注目銘柄(A)	注目銘柄(B)	注目銘柄(C)
1	9984:ソフトバン		
2	9983:ファースト		

「9983：ファースト」上で左クリック。

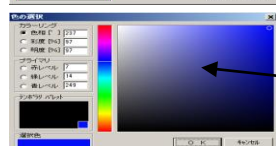
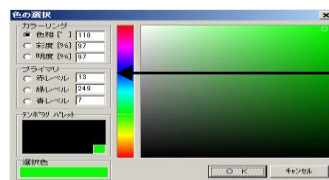
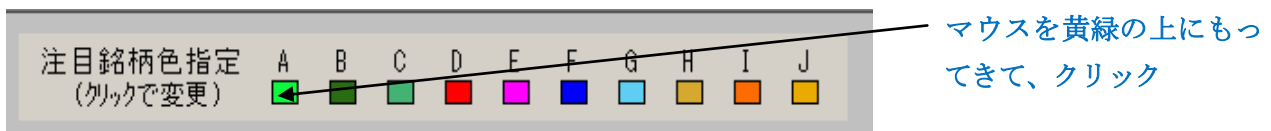
押したまま、マウスを動かし、注目銘柄（C）の上で指を放す

〔登録銘柄を、1行分ごっそりコピーして移動させる〕

- 移動させたい行の上、行に入っている銘柄名の上で、左クリック
- 『右クリック』
- 『指定注目全銘柄のクリップコピーへコピー』の上で左クリック
- 移動先にしたい行の上で右クリック
- 『クリップボードから貼り付け』クリック

〈登録銘柄の色を変えたい〉

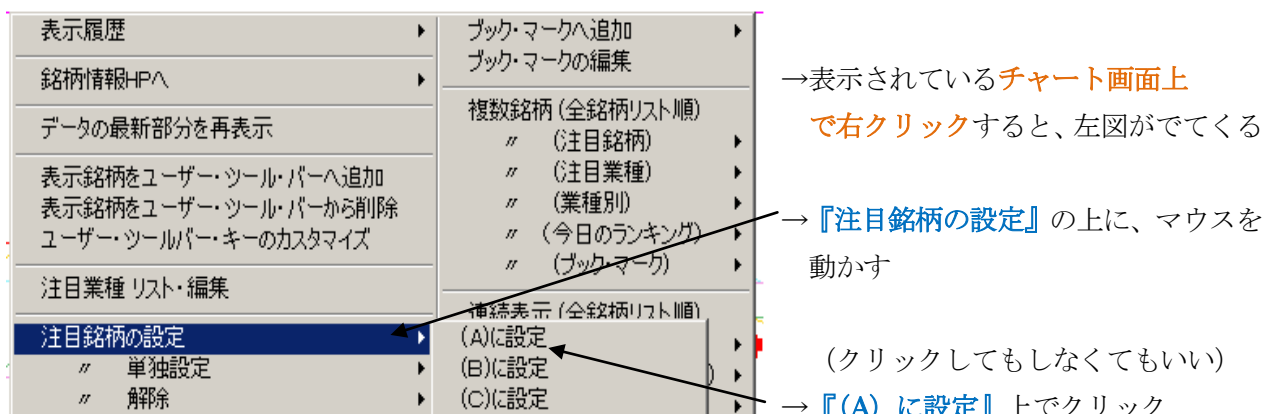
→例えばAの黄緑を青に変えてみる



右の面の色が変わる。
好みの青の濃さの上でクリック
→『OK』

＜銘柄登録をするぞ2：チャート画面上から注目銘柄に登録する＞

例えば、今見ているチャートを、注目銘柄（A）に登録する方法



5-6. 複合・連続・複数 表示

<複合表示：「月足、週足、日足」や「週足、日足」を、1画面に表示する>

ユーザーツールバーに、「複合チャートの表示を登録」してしまう

ユーザーツールバーに、複合チャート表示ボタンを登録する方法の概要（詳細は、P16 参照）

上から 2 段目グレーの帯にある、『設定』クリック

→出てきた下帯の中から、『ユーザー・ツールバー・キーのカスタマイズ』 クリック

→「設定機能」か「ボタン名称」の白枠の中でクリック

→「メニュー項目の選択」右隣『▼』 クリック

225：複合チャート（月、日）

226：複合チャート（日、週）

227：複合チャート（日、週、月）

から、好みのものを、クリック。

→『OK』

→登録が終わったら、チャート画面で、チャートを表示させる

→上から 4 段目の帯（ユーザーツールバー）にある 「月日」や「週日」 ボタンをクリック。

同一画面上に、月足・日足や、週足・日足が表示される。

→分割されたチャートの上でクリック すると、その画面が全面表示される。

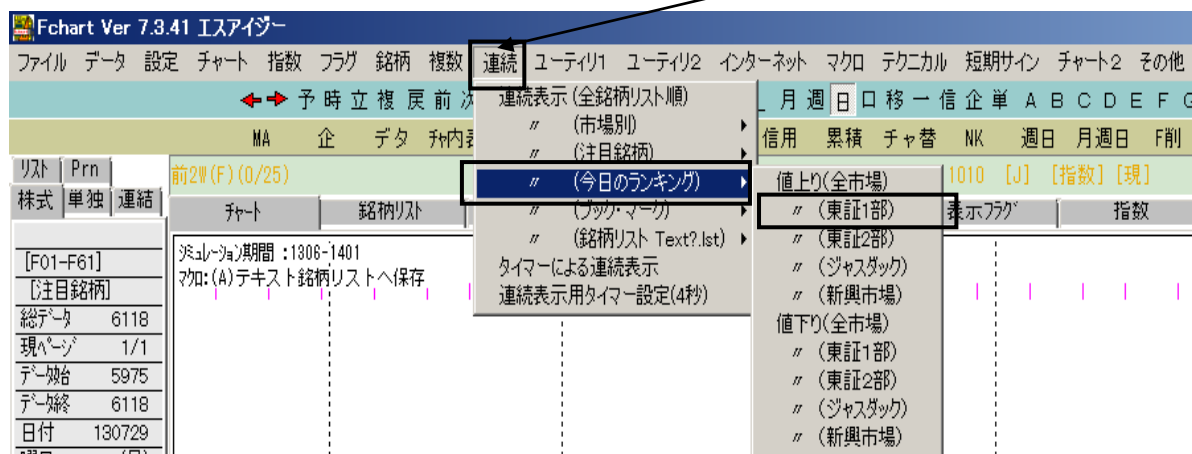
例えば、週足・日足が表示画面の、週足上でクリックすると、全面週足表示になる

<連続表示>

例えば、今日の、「東証 1 部の値上がり率ランキング」を、順番に見ていく場合

→上から 2 段目のグレーの帯の中の、『連続』 クリック

ここ



→出てきたものの中から、見ていきたいものを選ぶ。

→今回は値上がり率ランキングだから、『 " (今日のランキング) ' 』の上にマウスを置く。

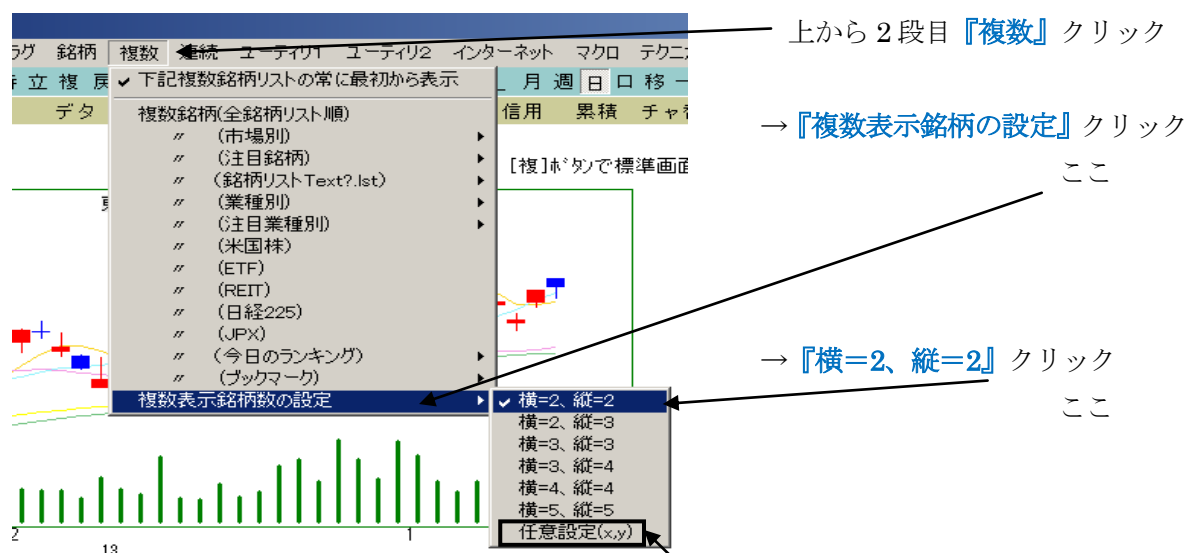
- 『値上がり（東証1部）』上に、マウスを動かし、クリック
- 上から3段目の青い帯の中の『次』をクリックすると、順番に見ていける。

＜複数表示＞

1画面に、複数銘柄を表示させたいときに使う。

＜分割数を設定する＞

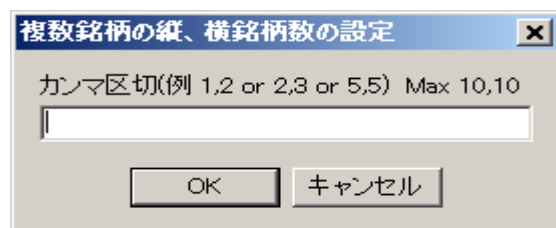
【例えば、1画面に4つの銘柄を表示させる方法】



【自分の好きな個数を表示させたい】

例えば、横3×縦2で表示させたい場合

上記の画面で、一番下の『任意設定 (x,y)』クリック



左図画面がでてくるから

→ 『3,2』と入力。『』はいらない。3,2

前の数字が、横に並べる銘柄数で、後の数字が縦に並べる銘柄数。

→ 『OK』

＜注目銘柄に登録した銘柄を見たい＞

【例えば、注目銘柄（A）に登録した銘柄を、4つずつ見る方法】

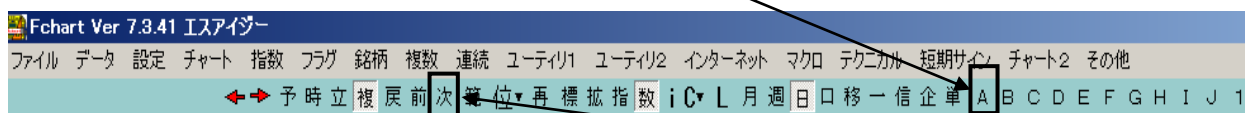
上記作業で、表示銘柄数を設定する。

『複数』→『複数表示銘柄の設定』→『横=2、縦=2』で、表示銘柄数を設定。

既に設定してあったら、しなくてよい。

→上から3段目青い帯『A』クリック

ここ



注目銘柄（A）に登録させた銘柄が4つ表示される。

次の4つをみるとときには、『次』をクリック

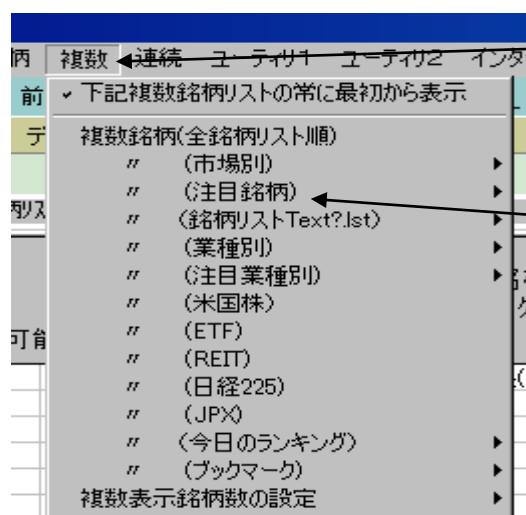
ここ

[いろいろな銘柄を、複数表示させて見たい]

例えば、注目銘柄に登録した銘柄を、4つずつ、全部見たい場合

『複数』→『複数表示銘柄の設定』→『横=2、縦=2』で、表示銘柄数を設定。

既に設定してあったら、しなくてよい。



→上から二段目『複数』クリック

→複数表示せたいものを選ぶ。

今回は、登録した注目銘柄を全部見たいから、『注目銘柄』を選択

→帯がでてくるから

『注目銘柄（全）』クリック

同じやり方で、全銘柄や、市場別などが複数表示できる

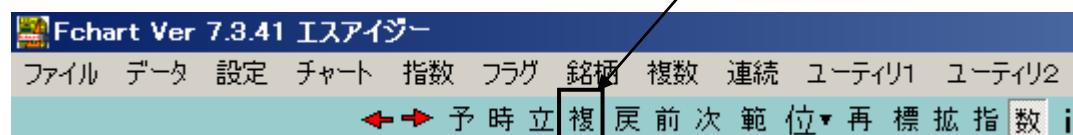
〈複数で表示させている銘柄を、全画面で見たい〉

拡大させたい銘柄の上でクリック

〈全画面にしたあと、再度、複数表示画面に戻したい〉

上から3段目の青い帯の中の『複』クリック

ここ



以上で基礎編は終わりです。

お疲れさまでしたあ。